

## 第17回日本高齢者虐待防止学会 WEB大会(大阪実行委員会)

### 広告掲載・協賛金募集(ご依頼)

謹啓 時下 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年度延期となっておりました表記大会ですが、2021(令和3)年9月26日(日)にオンラインで開催することになりました。今年度は会場をお借りして参集形式で開催したいと思っておりましたが、今後の状況も見据えて確実に開催できる方法を優先すべく、ZOOMを活用して参加いただく形式となります。なお、大会のテーマは「高齢者虐待の防止と尊厳を支えるケアサービス～ケアの本質を探る～」となります。

2000(平成12)年の介護保険制度がスタートしてから20年が経過しました。高齢者介護に関するサービスは大幅に拡大し、当初の目的であった「多様な主体の参入」も図られ、利用形態に応じて様々な場所で各種の介護サービスが受けられるようになりました。その一方で毎年公表される高齢者虐待に関する報告例は増加を続けています。各サービス事業者、施設、自治体等では様々な研修やビデオ等教材の開発、また、外部からの来訪者を増やすなど、いわゆる「風通しのよい」現場づくりも行われておりますが、まさに増加と減少のせめぎあいが続いているような状況です。

と申しますのもここへきて様々な外部要因の変化がみられています。たとえば介護人材等の不足です。ご承知の通り日本は少子高齢化が急速に進んできており、(コロナウイルス感染拡大直前までは)分野を問わず人材不足が顕著になっておりました。少子化により各学校では入学者が減少し、特に福祉・介護関係の養成施設・学校では減少が顕著で学科や学部は縮小や閉鎖が散見されています。また、直接的な介護職員に限らず、間接的に各種の相談援助職も不足傾向がみられてきているところです。また、高齢者の就業人口増加の影響もあり、民生児童委員やオンブズマン、自治会やボランティアなど各種の地域の見守りを担う人材も不足傾向にあると聞きます。高齢者虐待を防ぐための職員の育成や、外部からの目による「風通しのよい」現場づくりを進めるには、いささか逆風も吹いていると言わざるを得ないと考えています。

そこへ今般の新型コロナウイルス感染拡大の影響による、対人対面関係の遮断縮小です。近年、悲しいことですが介護殺人に関する報道が散見されますが、これだけ相談支援を行う機関が増えているにも関わらず、救えない現実が私たちの前に立ちはだかっています。それぞれの事例では様々な原因がありひとくくりに語れないところではありますが、何とかできなかつたものか。そう思わずにはいられない今日この頃であります。

そうした中で高齢者虐待防止へ向けどのような実践が、研究が行われてくるのか。過去を振り返り未来を見据え、多くの方の参加を見込んでおります。

現在、鋭意開催準備を進めておりますが、諸費用にかなりの経費がかかることが予想されます。会員の参加費等で大半を賄うようにしておりますが、大会の内容をより充実させるため、広く関係のある諸団体の皆さまのご理解とご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

つきましては、別紙要領で開催いたしますので、何卒ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら皆さま益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

謹白

2021年4月吉日

第17回日本高齢者虐待防止学会 WEB大会(大阪実行委員会)

大会長 濱田 和則(社会福祉法人 晋栄福祉会)

(公印省略)

# 第17回日本高齢者虐待防止学会 WEB 大会（大阪実行委員会）

## 開催要項

1. 会期 令和3年9月26日（日） 前日 9月25日（土） 市民公開講座

2. 大会長 濱田 和則（社会福祉法人晋栄福社会 理事長）

3. 大会テーマ「(仮題) 高齢者虐待の防止と尊厳を支えるケアサービス」

### 4. 開催趣旨と目的

当学会が2003年、設立されて18年目になりますが、この間、高齢者虐待防止法が制定され、当学会の活動として毎年多くの研究発表がなされ、介護や看護の現場にフィードバックされ、当学会の学際的な役割が一定程度果たしてきたと考えます。また、虐待防止法制定後の虐待件数、通報件数は、毎年増加していますが、いままで見過ごされてきた虐待防止の認識が全国的に浸透しつつある証左とも言いえると思われま

す。このような中で高齢者虐待防止に特化した当学会の果たすべき役割は極めて重要で、今後公的調査、提言、審議会など果たすべき役割は大きいものがあります。そこで、いままで当学会は任意団体として活動してきましたが、今後は、一般社団法人として、この高齢者虐待防止の取り組みの先頭に立って活動し、諸外国の取り組みとも連携し、また同じく児童、障害者、DVなど虐待問題に取り組む皆さんとも連携していかなければなりません。さらに多くの研究者と現場の皆さんに支えて頂きながら、虐待防止に向けて全力を尽くさなければなりません。

本大会では、「(仮題) 高齢者虐待の防止と尊厳を支えるケアサービス」という大会テーマのもと、高齢者をとりまく関係職種がそれぞれの立場で、どうすれば高齢者虐待を予防できるのか、生き生きとした生活を支援できるのかなどについて、可能な限り効果的な事例、手法、研修、取り組みなどを学びたいと考えております。ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

5. 大会規模 約250名（見込み）

6. 対象者 介護職員、看護師、保健師、ケアマネージャー、社会福祉士、医療機関・高齢者施設・介護事業所関係者、行政書士、弁護士、行政職、警察、看護学・社会福祉学・法学・司法・医学関係の大学等の教員、報道関係ほか

### 7. 参加費

参加カテゴリー	参加費
会員	4,000円
非会員	5,000円
学生（大学院生含む）	2,000円

8. 後援 関係団体へ依頼予定

9. 協賛 依頼中

10. 事務局 第17回日本高齢者虐待防止学会 WEB 大会（大阪実行委員会）

〒665-0877 兵庫県宝塚市中山桜台1丁目7番1号

メール [japeal17@chidori2.jp](mailto:japeal17@chidori2.jp)

電話 0797-82-0201

FAX 0797-82-2525

担当 石村 野々村 丸山

## 募集要項

### 1. 協賛

1口 10,000円

大会ホームページトップ画面下部に企業名（テキスト）と企業ホームページへのリンクを掲載いたします。（1段につき4団体）

### 2. 広告掲載

大会抄録（pdf）への広告掲載と、大会ホームページへのバナー広告掲載の2種類があります。

#### ①大会抄録（pdf）掲載広告

大会抄録は大会参加者に配布（A4 50ページを予定）

掲載料：1頁広告 カラー 50,000円

半頁広告 カラー 30,000円

#### ②大会 HP バナー広告

掲載場所：大会ホームページトップ画面下部（1段につき3団体）

掲載料：50,000円（ホームページ掲載期間：2022年3月末まで）

### 3. 応募方法

次項申込書に記入し、FAXもしくはメールにてお申込みください。

広告申込締切日：2021年8月30日

### 4. お振込先

ゆうちょ銀行 ○二九（ゼロニキュウ）店（029）

当座 0139376

口座名：日本高齢者虐待防止学会学術大会

### 5. お問い合わせ先

一般社団法人日本高齢者虐待防止学会 事務センター

〒338-0812 さいたま市桜区神田 313-1 B105 NPO 法人シルバー総合研究所内

電話 048-711-7144

FAX 050-3737-4902

メール info-japea@silver-soken.com

# FAX 送信先 0797-82-2525

送信日 令和 年 月 日

第17回日本高齢者虐待防止学会 WEB 大会 大阪実行委員会事務局 行き

申込書

1. 協賛金 0,000 円 (1口 10,000 円) ※金額をご記載下さい

2. 抄録集広告掲載 ※へ (チェック) をご記入下さい

- 1 頁広告 カラー 50,000 円
- 半頁広告 カラー 30,000 円
- バナー広告 50,000 円

施設名/企業名	
代表者 (担当者) 名	
電話番号	
F A X	
E - Mail	
住 所	〒
振込予定日	令和 年 月 日